

各種支援制度のご案内

新たなライフステージを歩みだした皆様へ。

吉野川市では、マイホーム新築や子育て計画など皆様の人生設計を支援するため、様々な制度をご用意しています。ここでは、ライフステージに対応した支援制度をご紹介します。

■移住に関する制度

わくわく移住支援事業

担当：市長公室（本館3階） ☎ 22-2203

東京圏からのUIターン促進や地方の担い手不足の解消に向け、「地方で起業したい」、「自然豊かな地方で子育てしたい」等、市内に移住される方の負担を軽減するため、東京23区から移住された方に引っ越しにかかる費用100万円（単身世帯には60万円）の補助金を交付します。
（子育て世帯が転入される場合は、子ども一人につき100万円が加算されます。）
※ 移住支援金対象法人として徳島県が認定した企業での就労が必要です。



■届出を記念する制度

届出記念撮影事業

担当：市民生活課（本館1階） ☎ 22-2210

吉野川市に婚姻届、出生届等を提出された方に、市民生活課で記念として写真撮影を行っています。
撮影した写真は、オリジナルのメッセージカードを添えてデータでお送りします。届出の思い出としてぜひご活用ください。



■住まいに関する制度

ず〜っと吉野川市!!定住支援事業

担当：市長公室（本館3階） ☎ 22-2203

子育て世代への支援、若者世代の移住・定住人口の増加及び地域の活性化を図るため、住宅取得を支援します。
この事業は、40歳未満の方が新築した場合は20万円、購入した場合は15万円の補助金を交付します。（加算の要件を満たした場合、最大35万円）
※補助交付対象の条件、補助金の額、交付期間等の詳細については、担当課までお問い合わせください。



移住促進空き家リノベーション支援事業

担当：建築営繕室（東館2階） ☎ 22-2224

市外からの移住者が、空き家バンクを利用し、空き家の購入または賃借した場合、空き家のリノベーション費用に最高で320万円の補助金を交付します。



空き家バンク

担当：建築営繕室（東館2階） ☎ 22-2224

空き家の所有者に登録を募り、利用を希望する方に空き家等の情報を提供します。
※詳しくは、建築営繕室までお問い合わせください。



木造住宅耐震改修支援事業

担当：建築営繕室（東館2階） ☎ 22-2224

耐震性能を有していない木造住宅について、耐震化工事等を行った場合、補助金を交付します。



■出産・子育てに関する制度

子育てガイドブック

担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

市の子育て支援関連情報を集約した子育てガイドブックを配布しています。



出産祝金

担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

出生児の健やかな成長を願い、出生児1人につき1万円を支給しています。



吉野川市こども家庭センター

担当：こども家庭センター（本館1階）
☎ 22-2267

令和6年4月より、従来の「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の機能を集約して、「吉野川市こども家庭センター」を開設しました。

業務としては、児童虐待への対応やヤングケアラーの支援、母子保健では妊娠届から妊娠婦支援、子育てや子どもに関する相談を受けて支援につながるためのサポートプランの作成など、伴走型支援を強化しています。

さらに、子育てに不安や負担を抱えている世帯などを訪問し、家事支援なども行い、虐待リスクの高まりを未然に防ぎます。



出産・子育て応援給付金事業

担当：こども家庭センター（本館1階）
☎ 22-2267

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、保健師または助産師が妊娠届出時妊婦・その配偶者等に対して面談を行い、出産・子育てに必要な切れ目ない支援につなぐ「伴走型相談支援」と経済的負担の軽減を図る「経済的支援」を一体的に実施しています。1回目の支給は妊娠の届出をした妊婦に5万円、2回目の支給は、妊娠している子どもの数一人につき5万円を支給します。



母子保健事業

担当：健康推進課（本館1階） ☎ 22-2268

各種健診や相談を通じて、妊娠婦・乳幼児、子どもをもつ保護者の健康を支援しています。



吉野川市ファミリー・サポート・センター

担当：吉野川市ファミリー・サポート・センター
（日本フネン市民プラザ4階 ちびっこプラザ内）
☎ 22-2440

子育て中の家族が安心して、子育てと仕事の両立ができるように、「依頼会員」と「提供会員」が相互援助活動を行う制度です。会員同士の援助の調整を吉野川市ファミリー・サポート・センターのアドバイザーが行います。



ブックスタート事業

担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけづくりとして、4ヵ月児健康診査の際に、赤ちゃんとその保護者に絵本の読み聞かせを行い、ブックスタートパック（絵本など）をプレゼントしています。



在宅育児応援クーポン事業

担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

0歳から2歳までのお子さんを在宅で育児をしている保護者の方に、地域の様々な子育て支援サービスの利用料の支払いに使える「在宅育児応援クーポン」を交付しています。



育児用品購入費助成事業

担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

吉野川市内の取扱店で購入した対象育児用品の費用について、1歳までに2万5千円を上限として助成しています。
※出生前に購入した育児用品も対象となります。



子どもはぐくみ医療費助成事業

担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

子どもが病気やケガで通院・入院した場合の医療費のうち、保険診療にかかる自己負担分を助成しています。

吉野川市では、18歳に達する年度末まで助成を受けることができます。
(高額療養費・入院時食事療養費・移送費は除きます。)



子どもインフルエンザ予防接種費助成事業

担当：健康推進課（本館1階） ☎ 22-2268

子ども（生後6ヵ月から小学6年生）のインフルエンザワクチンの接種費用の一部を助成しています。

病児・病後児保育施設『さくらんぼ』『ひだまり』

担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

保護者の就労等のため、病気の子どもを保育するのが困難な時や、集団保育が困難な場合に、病期中（病児）または病気回復期（病後児）にある1歳から小学6年生までの児童を病院において一時的に保育します。

子どもの急な発熱時等にも安心して預けることができます。

市内には、山川町の医療法人さくら診療所内『さくらんぼ』と、鴨島町の石原小児科内『ひだまり』の2施設があります。



地域子育て支援拠点施設 担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

吉野川市に住所を有する乳幼児とその保護者を対象に、親子の交流や育児相談、情報収集の場を確保することで、子育て支援の充実を図っています。次の施設で事業を行っています。
地域子育て支援拠点施設の行事予定は、こども未来課や地域子育て支援拠点施設の窓口に備え付けています。

子育て支援センターちびっこプラザ（日本フネン市民プラザ4階）
子育て支援室ちびっこドーム（川島かもめこども園3階）
子育て支援室もうもうあいランド（鴨島東こども園1階）
子育て支援室ほたるルーム（高越こども園2階）
子育て支援館ぶどうの木（認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園北）
地域子育て支援センターかもめ元気クラブ（鴨島かもめこども園内）
地域子育て支援センター山瀬わんぱく広場（山瀬かもめこども園内）
子育て支援なかよくくらぶ（鴨島中央認定こども園内）



児童館 担当：こども未来課（本館1階） ☎ 22-2266

健全な遊びや体験活動を通して、子どもたちの健康の増進と健やかな育成を図ることを目的に、さまざまな年齢の子どもたちの触れ合いを通じた仲間づくりなどを行っています。
児童館の行事予定は、市ホームページや広報よしのがわでご覧いただけます。

鴨島児童館（鴨島町知恵島1208番地2） ☎24-2379

鴨島南児童館（鴨島町飯尾550番地76） ☎22-2277

八坂児童館（山川町安楽寺165番地） ☎42-6828

※児童館の利用には、利用登録の申請が必要となります。
利用登録の申請は、各児童館でお手続きください。



図書館 担当：生涯学習課（東館3階） ☎ 22-2271

市内3カ所の図書館の児童コーナーには、絵本や図鑑、紙芝居があります。図書の貸出しほか、お話会や季節にちなんだ行事なども行っています。
図書館の行事予定は、各館へお問い合わせください。

鴨島図書館（鴨島町鴨島252番地1 日本フネン市民プラザ3階）
☎22-2004

川島図書館（川島町桑村883番地1） ☎25-3141

山川図書館（山川町北島19番地7） ☎42-5222

※図書の貸出しには、図書館貸出カードの作成が必要となります。
図書館貸出カードは、市内のすべての図書館で共通してお使いいただけます。

